

金剛石

八代市立第六中学校

学校だより

令和7年6月18日

文責：校長



校訓：「金剛石の光を發揮し、まわりを照らせ」

学校教育目標：「自分を磨き、仲間と繋がり、未来を考える生徒の育成～共に成長していく学校～」

子曰、過而不改、是謂過矣 ～過ちて改めざるを、これ過ちといふ～

6月5日（木）・6日（金）に前期中間考査が行われ、先週は教科ごとに解答用紙が返却されました。教室をまわっていると、生徒たちの一喜一憂の表情があり、友だち同士で結果を見せ合う様子もありました。中には「校長先生、○○点でした！」と言って答案用紙を見せてくれる生徒もいました。

さて、3年生の国語の教材に孔子の「論語」があります。古文・漢文をとおして昔の言語について学ぶと同時に、先人の知恵や考えを知ることができます。儒学の創始者である孔子は「過而不改、是謂過矣」と言っています。「過ち（間違ったこと）をしたことを知つていながら改めようとしている。これが本当の過ち（間違い）ですよ。」という意味です。定期考査やテストでは満点でなければ必ず間違い（過ち）があります。その間違い（過ち）をそのままにしておくことなく、丁寧にやり直しをしていってください。そのことが確実に力を付けていくことに繋がります。また、生きていれば人は失敗したり、間違ったことをしたりします。その時にしっかりと自分を見つめ、その過ちを正していけるかということが大切です。数十年前の孔子さんの言葉を真摯に受け止め、実践していきましょう。



人権月間～優しい心を持ち、人との接し方を学んでいきましょう～

6月10日（火）は人権集会が開かれました。人権月間で学習してきたことを発表し、人権擁護委員会の方からネットと人権についての講話も聴くことができました。現在、六中では132名の生徒が共に生活をしています。相手との関係をつくる時には自分との違いから「摩擦」が起きることがあります。いじめや差別は「特別な人が、特別な人に対して行う、特別な行為」ではありません。誰でもいじめや差別を「される」可能性があり、誰でもいじめや差別を「する」可能性があります。自分が傷つけられるかもしれませんし、自分が周りの誰かを傷つける危険性があることも忘れないでください。だからと言って、人と関わることを避けてはいけないと思います。人と関わり合うと小さな摩擦、小さな傷つけ合いが起きるかもしれませんが、その中から人との接し方やコミュニケーションの取り方、行動の仕方も学んでいきます。学校はそれらを学ぶ場所でもあると思います。もし、相手を傷つけてしまったと思ったら素直に謝ってください。前述の孔子さんの教えのように、過ちを正していくことが大切です。



中体連大会～ベストを尽くし、人間的に成長する機会に～

いよいよ八代中体連大会が迫ってきました。選手の皆さんは培ってきた力を十二分に發揮して、悔いの残らない大会にしてください。大会では相手に「勝つ=勝利する」ことを目指します。その中でこれまでの身につけてきた体力や技術、経験を活かし、工夫をします。このこと自体に大きな意味があります。同時に今までの自分自身に「克つ=克服する」ことも重要です。これまで頑張ってきた自分を信じ、仲間を信じ、できることを精一杯やりきってください。

大会に出場しない生徒の皆さんも同じ六中生として、選手の皆さんのがよりよい状態で大会を迎えるように、日常の学校生活でも「思いやり」を持った言動を心がけてください。六中生の活躍を祈っています。



7月の予定

1日（火）	生徒集会
3日（木）	高校等説明会～4日（金） 3年生もののづくり体験、漢字検定
7日（月）	3年生模擬テスト～8日（火）
10日（木）	2年生職場体験～11日（金）
12日（土）	県中体連総体 ～13日（日）、19日（土）～20日（日）
14日（月）	学校訪問
16日（水）	授業参観・懇談会、学校運営協議会
17日（木）	3年生就職ガイダンス、専門委員会
18日（金）	終業式
24日（木）	県吹奏楽コンクール



今週に入り、晴れの日が続いています。気温も上がり、「暑い」にとどまらず、湿度も高いために「危ない」状況にもなっています。熱中症対策のために水筒（十分な量）やタオルを持参しましょう。



また、落雷が増える時期もあります。先週の集会で教頭先生からも話がありましたが、再度裏面の資料を確認しておきましょう。



